

グローバル人材PBL Sbクラス 京都ジョブパーククラス

グループメンバー：大橋正俊、阪部優一、梶村陸公、黒田悠生
丹羽由愛雅、野本陸、森海歌

京都ジ ョ ブ パ ー ク

知 っ て ま す か ！ ？



参考画像：

<https://www.pref.kyoto.jp/jobpark/guide.html>

https://sokusenryoku.kyoto/?utm_source=yahoo&utm_medium=cpc&utm_campaign=202101_sokusenryoku_cp_yahoo_search&yclid=YSS.EAlaIQobChMI6J3T9Ya07glVgquWCh3r3Q4uEAAYASAAEgIXoPD_BwE

<https://www.projectdesign.jp/201404/hitpolicy/001316.php>

○発表の概要

学生ならではの視点から見る「京都ジョブパーク」のあるべき形とは??

アンケート調査・データ収集（認知度調査）

現状から考えられる課題 -京都府の学生人口流出- ・ 女性への焦点

これらを解決するために「京都ジョブパーク」ができることとは??

もくじ

1. 「現状」

- ①学生によるジョブパーク認知度
- ②学生による働く意識
- ③まとめ

2. 「課題」

- ① 企業・学生側が抱く不安
 - コロナ前後で変わったこと、変わらなかったこと-
- ② 京都からの人口流出について
- ③ 就職支援機関の現状について
(京都ジョブパーク)

京都ジョブパークの課題について

3. 「解決案」

- ① 「京都ジョブパーク」の各コーナーにおける解決案
- ② 中小企業を伝えるイベント企画
- ③ 女性の働く意識改善企画

4. 「京都ジョブパークのあるべき形とは」



1. 「現状」

①学生によるジョブパーク認知度

〈調査方法〉

- ・Instagramにて、アンケート実施

〈調査日程〉

- ・2020/12/08

〈調査対象〉

- ・全115人
- ・年齢関係なく投票



実際の
質問内容

1. 「現状」

②学生による働く意識

〈調査方法〉

- ・ Instagramにて、アンケート実施

〈調査日程〉

- ・ 2020/12/08

〈調査対象〉

- ・ 全115人
- ・ 同年齢の投票



実際の
質問内容

1. 「現状」

③まとめ

認知度調査の結果

- ・ 認知度が圧倒的に低く、女性の方が認知していない。
- ・ 年齢差はあるが、京都府民が京都ジョブパーク自体を知らない。

女性の働く意識調査の結果

- ・ 女性は地元就職希望者が多い。
- ・ 子育てと両立したい人が多い。

課題として考えられること

- ・ 認知度が低く、利用者増加に繋がらない。
- ・ 利用すること・目にする機会がない。

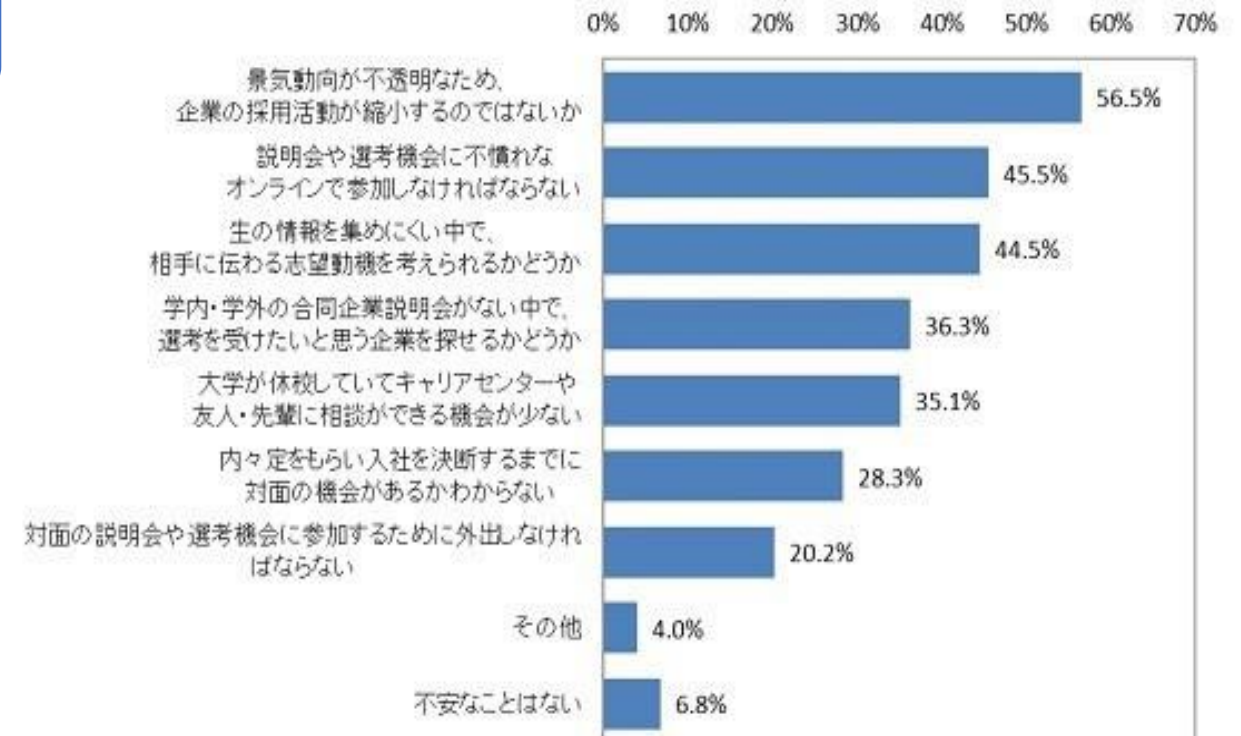
2. 「課題」

①企業・学生側が抱く不安 -コロナ前後で変わったこと、変わらなかったこと-

学生側

- ・ コロナウイルスをはじめとしたさまざまな経済的要因に対する不安
- ・ オンライン化など就職活動の形式の変化に対する不安
- ・ **低回生は何から手を付ければいいかわからない**

【図 6】新型コロナウイルス感染拡大の中、
現在就職活動を進める上で不安に思っていることとして当てはまるもの（複数回答）



NHK『企業の3分の1が「1人も採用できず」

URL:https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu514/

2. 「課題」

①企業・学生側が抱く不安

-コロナ前後で変わったこと、変わらなかったこと-

企業側

- 今後の経済状況の不透明さに対する不安
- 特に中小企業においてはオンライン形式での採用に対応できておらず、採用しづらい状況にある

採用予定数に対して現在採用が確定している割合（充足率）

	21年卒	20年卒	前年比
8割以上	22.3%	23.5%	-1.2
5～7割	18.6%	20.7%	-2.1
1～4割	22.4%	28.4%	-6.0
0割	36.6%	27.5%	+9.1

NHK

	300人未満	300～999人	1000人以上
充足率0割	43.3%	29.3%	16.0%

NHK

NHK『企業の3分の1が「1人も採用できず」』

URL:https://www3.nhk.or.jp/news/special/news_seminar/syukatsu/syukatsu514/

2. 「課題」

②京都からの人口流出について

希望就職先（京都）が第一希望の学生	全国の2.9%
出身高校が京都かつ京都（第一希望） に就職したい割合	全体41.3% 地元進学49.6% 地元外進学32.8%
出身高校が京都で地元（Uターン含む） 就職を希望する割合	希望 36.8% 希望＋どちらかということと希望 63.2%

⇒これらの学生に「京都ジョブパーク」が焦点をあてるべきである

2. 「課題」

③就職支援機関の現状

学生就職支援センター(京都ジョブパーク)

京都ジョブパークの就職支援(若者対象)

役割が似ている!

- 公・労・使による共同運営方式
- 相談から就職までの流れを、ワンストップ支援を基本としている。
- ハローワークだけではできないことを実現している

2. 「課題」

③京都ジョブパークの課題

就職サポート面

- それぞれのニーズにあった内容の取り組みをする必要性がある。
- （参加促進・イベント開催など）

アクセス・機能面

- ホームページや各サイトの利用しやすさを向上する必要がある。
- （分類分け・ログインの有無など）

3. 解決案

①「京都ジョブパーク」の各コーナーにおける解決案

全体について

- 利用者満足度等のアンケートを定期的実施する

就業サポートセンター(京都ジョブパーク)

- 就活について話し合う機会の増加
- 実体験に基づく情報提供の場を設ける

インターンシップ・キャリア形成支援担当について

- 早期選考案内など特典をつける
- インターンシップ開催のテーマをより詳細にする

京の留学生支援センター

- 説明会だけでなく勉強セミナーの開催

新卒応援ハローワーク

- ミスマッチを防ぐために、少人数制の企業セミナーを開催する

3. 解決案

① 「京都ジョブパーク」の各コーナーにおける解決案

「京都ジョブパーク」のサイトについて

全体

- ナビ分けが必要である。

UI/ターン

- ログイン回数を1回で済ませられるように各サイトのセキュリティを連携する。

ものづくりナビ

- 女性にも親しみやすい企業を掲載する。

ジョブこねっと

- 「京都ジョブパーク」限定の企業を掲載。
- 情報の統一化。

3. 「解決案」

②中小企業を伝えるイベント企画

中小企業博覧会

- 企業数 60社以上
- 多様なブース
- 対象を絞る（卒業年度別）
- 私服参加強制（1、2年生の参加促進）

紹介企業数No.1を目指す

3. 「解決案」 女性への働く意識改善企画

女性が働きやすい企業説明会の実施

女性が働きやすい企業だけを集め、企業研究・業種選択の幅を広げる。

検索機能の追加

女性が働きやすい環境を検索し不安解消に繋げる。

4. 「京都ジョブパークのあるべき形とは」



ありがとうございました。